特別賞

■快適ネットワーク賞

都市計画道路 下知伊野線整備事業（高知市）

■表彰対象者：高知県高知土木事務所

十字歩道橋より望む

国道33号立体交差部

全景

事業のあらまし

この事業は、国道33号と国道56号のバイパス（土佐道路）を結ぶ市街地環状道路の役割として、また、慢性的な渋滞対策として昭和63年より着手し、国道33号（直轄施工）の拡幅事業と一体的に整備を行ったものである。

事業の効果

国道33号及び路面電車を立体交差化したために渋滞の緩和が図られた。また、平成10年３月に開通する四国横断自動車道の伊野I.C.への県西部からのアクセス道としての機能も果たしている。

●延長：772m
●幅員：24m
●全体事業費：4,865百万円
　うち街路事業費：4,865百万円
●事業期間：昭和63年度～平成２年度

■景観デザイン賞

都市計画道路　和歌浦廻線整備事業「あしべ橋」（和歌山市）

■表彰対象者：和歌山県和歌山土木事務所

全景

ライトアップ

事業のあらまし

歴史的景勝地である和歌浦地区を外周する道路であることから、眺望に影響がない桁高さや、環境にマッチする石造り風のアーチ橋とするなど、景観に配慮した構造としたうえで、当地区の生活環境の改善を図るため、整備を行う。

事業の効果

整備により当地区の生活環境の改善はもちろんのこと、歴史的景観（環境）に配慮された道路として、観光道路の機能を併せ持つ整備が出来た。

●延長：78m
●幅員：11m
●全体事業費：864.5百万円
　うち街路事業費：864.5百万円
●事業期間：昭和63年度～平成２年度

■アーバンリフレッシュ賞

都市計画道路　周防町通線改良事業（大阪市）

■表彰対象者：大阪市建設局

アメリカ村

ヨーロッパ村

事業のあらまし

周防町通線は都心商業地区「ミナミ地区」の中心部を東西に横断する地区内幹線道路である。歩道拡幅及びキャブシステムの整備を行うことにより、安全で快適な歩行者空間を確保するとともに良好な都市景観の形成を図った。

事業の効果

当該事業が一つのインパクトとなって沿道建物の建替えが進むなど、道路整備（歩道拡幅、キャブ設置）と沿道整備が相まって沿道地域一体のよりよい景観整備が図られた。

●延長：1,400m
●幅員：12.8m
●全体事業費：755百万円
　うち街路事業費：755百万円
●事業期間：昭和60年度～平成６年度

■ふれあいプロムナード賞

都市計画道路　鈴蘭通改良事業（滝川市）

■表彰対象者：北海道滝川市建設部

ベンチでくつろぐ買物客

ライトアップ

全景

流雪溝への投雪完了状況

事業のあらまし

鈴欄通は、一般国道451号から滝川市の中心商店街を通り、滝川駅前広場に至る幹線道路であり、地元商店街の近代化事業と合わせ一体的な地域整備を図ることを目的とした事業である。

事業の効果

流雪溝の設置により、冬期間には、道路脇の雪山が消え、夏期間には各種のイベントが開催される〝ペルロード〟の愛称で親しまれている。

●事業延長：530m
●事業幅員：20m
●全体事業費：698百万円
　うち街路事業費：274百万円
●事業期間：平成元年度～２年度

■ふれあいデザイン賞

都市計画道路　東町中町線県単街路事業（岐阜県関ヶ原町）

■表彰対象者：岐阜県大垣土木事務所

イロハカルタをはめ込んだ高欄

わざみ野橋（全景）

事業のあらまし

交通の要衝「関ヶ原」では、特に冬季に渋滞する。そこで中心部を迂回して関ヶ原I.Cへアクセスする街路東町中町線を整備した。一帯は古戦場、歴史に配慮した修景で歴史とロマンを醸し出している。

事業の効果

関ヶ原は「歴史とロマンと石の町」。本線の一環として整備した『わざみ野橋』の高欄には「関ヶ原カルタ」の絵札を配置し、石畳を歩く人々が町の由来・伝説・文化に触れられる趣向で、人々に親しまれている。

●橋長：15.7m
●修景区間：200m
●幅員：13.0m
●全体事業費：880百万円
　うち街路事業費：150百万円
●事業期間：昭和63年度～平成２年度